

■事業の概要

1. 管理運営全般

(1) 理事会及び評議員会の開催状況

平成 29 年度において、理事会を 5 回、評議員会を 5 回開催しました。

(2) 監査の実施状況

ア. 監事監査

監事は、平成 29 年度に開催されたすべての理事会・評議員会に出席し、学園の重要な業務の決定及び執行状況等について監査を行いました。

また、平成 24 年度より中間監査を行っており、平成 29 年度も前期予算執行状況の監査及び理事の業務執行状況を確認しました。

なお、会計監査では同席した監査法人の業務執行社員に主要項目について説明を求め、計算書類および財産目録等について監査を行いました。

イ. 監査法人による会計監査

平成 29 年度において、監査法人彌榮会計社による監査が 15 日間に亘って実施されました。

ウ. 内部監査

平成 28 年度の科学研究費補助金等の公的研究費にかかる帳簿と証憑および平成 28～29 年度科学研究費交付者の通常監査ならびに特別監査について、内部監査委員による内部監査を行いました。

(3) 将来構想検討委員会

将来構想検討委員会は、学園教職員の中からメンバーを委嘱し、学園の将来を見据えた大学の戦略を策定する場として機能しており、平成 29 年度は、保健医療学部作業療学科設置に伴う申請等について検討を行ってきました。平成 30 年度も引き続き学園の将来構想について検討を行う予定です。

(4) 学園創立 60 周年記念祝賀会

平成 30 年 2 月 24 日（土）にスイスホテル南海大阪に於いて、参加者 305 人を迎え、本学園創立 60 周年記念祝賀会を開催しました。

2. 大学・大学院

(1) 学生募集、広報関係

学生募集においては、入学生の質的および量的な確保のため、積極的な広報活動に取り組んでいます。重点施策として、オープンキャンパスの動員強化や資料請求者に対するきめ細かいフォローにつとめています。2018 年度入試での志願者数は、前年の 8.0%増（第 1 志望のみ）の反動もあり、全体では 4.8%の減少（新設学科分を除く）となりました。

「学力の 3 要素」を多面的、総合的に評価すること、アドミッションポリシーに沿った入学者選抜を行うこと等の観点から入試改革をすすめており、公募制推薦入試（専願制）で面接を実施することにより、入学への熱意、コミュニケーション能力や主体性、協調性などを合否判定に反映させたほか、一般入試、社会人入試においても改革を図りました。

また、大学入試センター試験については、本年度から本学を試験場として実施しました。

(2) 作業療法学科の設置

平成 30 年 4 月に保健医療学部作業療法学科（入学定員 40 名）を設置するため、文部科学省へ申請・届出を行いました。また、4 号館立て替えに伴う校舎用途変更認可申請を行いました。

(3) 臨床検査学科の収容定員増及び教育課程の改定

臨床検査学科は平成 29 年度に完成年度を迎えましたが、平成 30 年度に入学定員を 50 名から 60 名に変更し、併せて、それまでの教育を踏まえ、また、新たに細胞検査士の資格取得ができるよう教育課程の変更を行うため、文部科学省へ申請を行いました。

(4) はり灸・スポーツトレーナー学科及びヘルスプロモーション整復学科の教育課程の見直し

認定・指定規則が改定された標記 2 学科について、それに対応して平成 30 年度に教育課程を改定するため、文部科学省へ申請を行いました。

(5) アクションプランの策定

建学の精神を具現化し、優れた医療人を社会に送り出すため、教育の方法と仕組み及び教育環境について、さまざまな改善の取り組みを行っています。学内で進行中の取り組み及びこれから計画的に実行していく改革について、平成 28 年度に受審した第三者機関による機関別認証評価に伴い、本学の中期目標・中期計画と、それを実現するための具体的な年次計画を「関西医療大学 中期目標・中期計画（平成 27 年度～平成 31 年度）に係るアクションプラン」として策定しました。

(6) 学修成果発表会の開催

平成 29 年 9 月 1 日（金）に、学生主体の学修成果の発表により個々の勉学に対する追求心の向上と学科間の交流を図ることを目的として、「第 3 回学修成果発表会」を開催しました。夏休み中から準備をする学生が多く見られるなど、学生の学習意欲を感じる機会となっており、シンポジウム 5 題、講演発表 54 題、参加者 432 名でした。また、学修成果発表会終了後に、教員及び学生にアンケートを行って検証し、実施内容の改善を行いました。

(7) 教育環境の整備

- ①理学療法学科及び保健看護学科の収容定員増に対応して、教具・教材の整備等を行いました。
- ②その他、必要な教材等を購入するなど、教育環境のより一層の充実を図りました。

(8) 学生サービス

- ①昨年度に引き続き、成績が優秀な学生を対象とした特待生や関西医療学園奨学生を採用しました。
- ②大学院学生の経済的負担を軽減するため、平成 29 年度の入学生から、授業料を 100 万円から 60 万円に改定しました。なお、平成 29 年度の 2 年生については、1 人あたり 40 万円の奨学金を支給することで、授業料を実質 60 万円としました。
- ③学生増に対応して、通学バスのダイヤを見直し、通学の利便性を確保しました。

(9) 進路支援

学生の進路指導については、各学科の進路個人面談を行ったほか、キャリア支援イベントとして「合同就職説明会」、面接のマナー（模擬面談）講習やコミュニケーション研修などの「キャリア教育」、「卒業生と語る会」、「特別講義」等を開催しました。

また、平成 28 年度に第 1 期生が卒業した臨床検査学科については、前年度に卒業した第 1 期生の進路傾向を把握し、それらを基に教員とキャリア支援課が連携して、病院、検査センターや C R C（治験コーディネーター）の企業など多岐にわたった求人開拓を行いました。

全学的には、本学学生が就職した実習施設を中心に近隣の病院及び施術所をキャリア支援課職員が訪問して、勤務状況などを確認するなど、本学知名度の向上を含めたフォローアップを行いました。

(10) 在学生のモチベーションアップ講演会の開催

前年度に引き続き、4 月 5 日（水）の入学式終了後に、新入生を対象として、学生の勉学や就職へのモチベーションを高めるため、「人間力」についての特別講義を実施しました。また、平成 27 年度から行っている保護者説明会を、平成 29 年度も、この講演会の時間に開催しました。

(11) 研究

教員が 12 の研究ユニットのいずれかに属し、共同研究推進委員会がこれを統括するという研究体制を取っており、研究体制のさらなる改良を検討しています。その他、学内において研究交流会の開催等の活動を行っています。

平成 27 年度より、「研究倫理教育」および「コンプライアンス教育」に係る学内研修会を開催しており、今年度も開催しました。さらに、学内の全教員、研究に係る業務を担当する職員および大学院生が、e ラーニングによる研究者行動規範教育「CITI Japan プログラム」を受講することで、研究倫理教育のより一層の推進を図りました。

外部資金としては、文部科学省および日本学術振興会の科学研究費補助金を獲得しました。

(12) 施設・設備の整備・補修等

以下のとおり、施設・設備の整備・補修等を行いました。

- ①4 号館建替工事
- ②3 号館 1 階柔道場の畳および壁面防護パッドの購入
- ③1 号館 2 階 211・212 講義室照明 L E D 更新工事
- ④管理棟 1 階学長室・応接室の内装修繕工事
- ⑤大学入試センター試験の単独実施に伴う 1 号館 1 階階段下倉庫の改修工事
- ⑥5 号館および 3 号館学生用ロッカーの売却
- ⑦3・5 号館プロジェクターの設置等
- ⑧事務室前および 1 号館 2 階などの休憩スペースの机、椅子の設置
- ⑨大学内堅樋および軒樋等の塗裝修繕工事
- ⑩3 号館トイレの壁床タイル張替工事について

(13) 大学（教学）業務基幹システムの導入

Web上で自分の時間割や成績、シラバスを見ることができるなど学生サービスを充実し、併せて大学（教学）業務の一部を見直してシステム化するため、大学業務基幹システムを平成27年度から順次導入する計画を進めました。このことにより、大学全体のデータを一体化し、業務を効率化することが期待できます。このうち、平成27年度は設計と一部開発、平成28年度は本開発とテスト稼働を行い、平成29年度に本稼働を行いました。

(14) 自己点検・評価、F D ・ S D 活動等

ア. 自己点検・評価活動

平成28年度の認証評価受審に伴い、大学が、教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、

その社会的責任を果たしていくため、その理念・目標に照らして自らの教育研究活動等の状況について自己点検し、現状を正確に把握・認識した上で、改善に努めました

また、平成17年度から、「教員の活動状況調査票」による教育研究の実態調査を開始し、学長がこの調査票を取りまとめ、将来の参考として保存しています。引き続き、平成28年度の調査を行いました。

イ. FD活動

本学の教育目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況の自己点検・評価や、必要な改善点について、検討を行いました。

- ①学内講師での講演会の開催
- ②公開授業（教員相互の授業評価）の実施
- ③授業評価アンケートの実施
- ④Pre-GE テストの実施（学部入学生を対象）
- ⑤初任者研修会の開催

また、平成27年度にカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに基づいたカリキュラムマップを作成して科目のナンバリングを行い、平成28年度シラバスにすべての科目のナンバリングを記載して各学科における科目の位置づけを明確にしましたが、平成29年度は学修成果を可視化する取り組みの一環として、在学中に身につける資質と能力を示すコンピテンシー・キーワードの策定を行いました。

ウ. SD活動

文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団、私学経営研究会および日本私立大学協会等が実施する外部研修会に事務職員が参加するなど、職員自身が業務の専門性や効率性の向上を目指すように支援し、職員全体の資質の増進に努めました。

また、本学に外部講師を招き、SD研修会およびハラスメント研修会を開催しました。

(15) 国際協力機構からの研修生の受け入れ

平成29年度も、独立行政法人国際協力機構（JICA）日系研修員受入事業の「鍼灸学」の短期コース研修生（ボリビア多民族国）を1名受け入れました。

(16) 地域貢献・社会貢献

ア. 公開講座の開催

平成29年度は、メインテーマを「未病から先がけの医療へ 一つなごう健康の和・輪・環！」とし、平成29年10月21日（土）に公開講座を開催し、82名の参加がありました。

外部より講師を招き、「どんな時でも、いのちは輝く～最期まで暮らし続けられる町をめざして～」をテーマに講演いただきました。また、シンポジストも学外からお招きし、本学教員も参加しシンポジウムを行いました。

イ. 熊取町との連携

地元熊取町に対し、各種市民講座への講師派遣、行政への協力のほか、定期協議を継続して行いました。また、町からの求めに応じて、以下の通り町内の健康福祉等の事業に協力しました。

- ①「熊取町青少年問題協議会」委員に就任
- ②「熊取町障害支援区分判定審査会」委員に就任
- ③「熊取町保健対策推進協議会」委員に就任

- ④「熊取町国民保護協議会」委員に就任
- ⑤「健康お悩み相談コーナー」開設
- ⑥「熊取町防災会議」委員に就任
- ⑦「熊取町交通事故をなくす運動」推進本部 理事に就任
- ⑧「熊取町献血推進協議会」委員に就任
- ⑨「町民文化祭」「環境美化強調月間・路上喫煙禁止街頭啓発キャンペーン」等の町イベントへの協力
- ⑩「熊取町総合計画審議会」委員に就任

ウ. 大学間連携の強化（大学コンソーシアム大阪）

大学コンソーシアム大阪の一員として、引き続き事業に参加し、連携しています。

特に大学の募集活動並びに大学運営に必要と思われる事業について、積極的に連携を図りました。

エ. 関西鍼灸系大学間連携協議会における連携

平成 28 年度より関西の鍼灸系学科を設置する 4 大学で標記協議会を組織しています。

平成 29 年度も、FD・SD、学術交流、広報、就職等において連携を行いました。

(17) 大学ポートレートへの参加

平成 26 年度より、日本私立学校振興・共済事業団が運営を開始した「大学ポートレート」（全国の私立大学が統一フォーマットの下、インターネット上で教育情報を開示する事業）に参加しました。平成 29 年度も引き続き本事業への参加を継続し、本学の教育理念と教育の特色および最新の教育関連データ等を受験生、保護者、高校進路指導担当者等のステークホルダーに対して提供しました。

(18) IR (Institutional Research) 活動への取り組み

学生教育や大学運営に関するデータベースの構築と分析を目的とする IR 活動を推進するため、平成 26 年度より本学内に教職協働の組織（IR ワーキンググループ）を発足しました。平成 29 年度は、学内の各種委員会および事務の各部署と連携しながらこの組織の活動を本格化させ、学生教育に関するデータを中心に整理と分析を行いました。

3. 大学附属保健医療施設

本学附属保健医療施設は、大学の臨床教育機関として、また、地域の保健医療機関として重要な役割を果たしています。

平成 29 年度は、保健医療施設全体で基本理念・行動指針に基づいた患者ニーズに沿った診療・治療体制の確立、介護保険事業の通所リハビリテーションにおいては、地域の介護支援事業者と日常的な連携を強化し利用者の増員を図り、よりよい通所リハビリテーションに努めました。

(1) 附属診療所の運営

昨年と同様、平成 29 年度は医療リハビリから通所リハビリへの移行期にあたり、通所リハビリの利用者が増加したことにより非常勤職員の増員及び車両 1 台の補充によりよい環境・運営に努めました。また、平成 15 年度に購入した医療機器の老朽化に伴い MR I を 8 月に更新導入しました。徐々に患者も増えつつ、診療体制に見合う診断・検査機器の見直しと整備に進めました。

(2) 鍼灸治療所の運営

鍼灸治療所は外部 PR 活動の一環として前年度から引き続き、近隣に出張講義等地域と取組み、増患対策に努めました。

(3) 附属接骨院の運営

前年度から開始したアロマセラピーの患者も徐々に増加しており、今年も治療部長を中心とした治療方針及び情報共有により患者ニーズに沿った治療体制、病状に合った施術方法を確立し、接骨院内での運動指導、運動教室の強化、診療所・鍼灸治療所との連携により患者数の増加を図りました。また、今年度はここトレの出張依頼もあり、院外においても積極的に患者増を図りました。

増患対策としては、前年度から引き続き診療所院内に PR 用ビデオの放映及びダイレクトメールの送付等広報活動に努め、外部 PR 活動の一環として開始している運動指導・運動教室を年間スケジュールで計画的に行い、積極的に広報、啓蒙活動に取り組みました。

(4) 危機管理体制の充実・強化

インフルエンザ等感染症・個人情報保護等における適切な対応を図るため、危機管理体制の充実・強化を図りました

(5) 広報活動の推進

平成 29 年度は、以下の通り引き続き広報活動を行い、費用対効果を考慮し、保健医療施設全体の認知度向上を図りました。

- ア. 地域情報誌等への PR 活動
- イ. 近隣ボランティア活動の会と交流、地域住民への PR
- ウ. ホームページ委員会と連携し充実した内容に随時更新
- エ. 接骨院主催の運動教室・公開講座参加者等への PR
- オ. 地域医療機関及び居宅介護事業所との連携
- カ. 診療所院内及び外部への PR

4. 専門学校

(1) 新教育課程に対する対応と将来構想の検討

東洋医療学科及び東洋医療鍼灸学科並びに柔道整復学科について、平成 30 年度施行の学校養成施設認定（指定）規則改正に伴うカリキュラムの変更承認を申請し、近畿厚生局長（平成 30 年 2 月 16 日付承認）及び大阪府知事（平成 30 年 1 月 10 日付承認）から承認を受けました。理学療法学科については、平成 32 年度から適用予定の学校養成施設指定規則の改正に対応するため、厚労省カリキュラム等改善検討会及び医道審議会の傍聴等により教育課程の編成等について検討を行いました。

また、専門学校の学生募集につきまして、専門学校将来構想検討委員会ならびに法人の将来構想検討委員会において検討を行いました。

(2) 自己点検・評価及び F D ・ S D 活動等

ア. 自己点検・評価の実施等

自己点検・評価委員会において、平成 28 年度の評価をとりまとめ、ホームページに報告書を公表しました。

イ. FD・SD研修会等に関わるもの

ア) 東洋医療学科FD研修(平成30年3月29日(木曜)13:00~17:00(於:森ノ宮医療大学)開催)

「あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう療養費について」

講師 伊藤久夫 先生(公益社団法人大阪府鍼灸マッサージ師会 会長)

「鍼灸師の介護領域への関わりについて」

講師 吉村春生 先生(公益社団法人大阪府鍼灸師会 理事)

イ) 柔道整復学科FD研修(平成29年8月6日(日曜)13:00~17:00(於:森ノ宮医療大学)開催)

「認定実技審査要領勉強会及び審査制度説明会」

講師 廣岡 聡 先生、下地秀和 先生、加藤 征 先生、船戸嘉忠 先生(公益財団法人柔道整復研修試験財団認定実技審査会 委員)

ウ) 理学療法学科FD研修(平成29年10月21日(土曜)15:00~17:00(於:本校)開催)

「リハビリテーション関連職種の需要と将来展望について」

講師 金井一暁 先生(理学療法学科学生部長)

エ) 学校協会教員研修等

① 東洋療法学校協会教員研修会参加(平成29年8月3日~4日、鹿児島)

② 柔道整復学校協会教員研修会参加(平成29年8月19日~20日、岡山)

③ 全国リハビリテーション学校協会教員研修会参加(平成29年8月31日~9月1日、新潟)

④ 近畿リハビリテーション学校協議会教員セミナー参加(平成29年9月30日、大阪)

オ) SD研修会

① 教育講演会(全校研修)

「人生を成功に導く人間力」(平成29年4月8日(土曜)14:30~16:00(於:本校)開催)

「人間力の錬磨」、「コミュニケーションスキルの要諦」

(平成29年4月9日(日曜)10:30~12:00、13:00~14:30(於:本校)開催)

講師 坂東弘康 先生(一般財団法人日本教育推進財団 会長)

② 入試広報研修(全校研修)

「学校説明会の企画運営について—アンケート結果報告、医療系学校の募集状況等—」

(平成29年7月25日(火曜)15:00~16:00(於:本校)開催)

講師 越井裕之 先生(株式会社リクルートマーケティングパートナーズ)

③ ハラスメント防止研修(全校研修)

「ハラスメントの基礎理解と現状について」

(平成30年2月15日(木曜)10:00~11:00(於:本校)開催)

講師 山岸 聡 先生(大阪府総合労働事務所 総括主査)

④ 事務職研修

「専門学校事務 総務管理/理学療法学科事務」

(平成29年8月2日(水曜)14:00~16:10(於:本校)開催)

講師 岩崎美祈 課員、室谷季代子 課員(専門学校学務課)

⑤ その他セミナー受講等

「初年次専修学校教育セミナー2017(株式会社進研アド主催)」(平成29年7月13日(木曜)14:00~16:00開催、大阪)

柔道整復学科専任教員が参加

「会計上の決算留意事項と税務上の留意事項」

(平成30年3月22日(木曜)14:00~17:10(於:あずさ監査法人)開催)

専門学校会計係長が受講

ウ. 教育講演会の開催

年度始めにあたり、学生のモチベーションを引き出す取り組みとして、教育講演会を開催しました。この講演会は教職員も研修の一環として拝聴しました。

新入生 (平成 29 年 4 月 8 日 (土曜) 14:30~16:00 (於: 本校) 開催)

在校生 (平成 29 年 4 月 9 日 (日曜) 10:30~12:00、13:00~14:30 (於: 本校) 開催)

講師 坂東弘康 先生(一般財団法人日本教育推進財団 会長)

(2) 学生に対する支援等

ア. プレスクールの開催

入学手続き者に対し、就学前の不安を解消し、学習方法の助言や各専門分野に興味をもてるような事前学習を行うことにより、安心して学生生活に進むことができるようにプレススクールを開催しました。(平成 30 年 2 月~3 月)

イ. 保護者懇談会の開催

高等学校新卒生の入学率の高い理学療法学科について、入学式終了後に保護者懇談会を開催しました。40 名を超える出席を得て、本校の教育方針と指導を説明のうえ意見交換を行い、本校と保護者が共通した認識で学生の指導・支援を行う体制の確保に努めました。

ウ. 特待生制度等

ア) 特待生奨学金による学費減免

イ) 学園奨学金の貸与

ウ) 柔道奨学金の給付

(3) 施設設備の整備

本・別館校舎の消火栓ホースの更新及び本館校舎の高圧受電設備機器の更新工事を行いました。

(4) 基幹業務システム等の導入準備

次年度導入予定の学務基幹業務システムについて、各業者と仕様内容の調整を行いました。また、専門学校使用のクラウドサーバーについて、業者及び学園総務部と調整を行い導入しました。

(5) 行政庁への申請手続き等について

ア. 教育課程改正に係る学則変更について

東洋医療学科及び東洋医療鍼灸学科(昼間・夜間)並びに柔道整復学科(昼間・夜間)について、教育課程の変更承認を申請し、上記(1)に記載のとおり承認されました。

イ. 理学療法臨床実習施設の変更承認申請

理学療法臨床実習施設の変更について大阪府知事に申請を行い、平成 29 年 7 月 24 日付で承認されました。

ウ. 公正採用選考人権啓発推進員の選任について

大阪府下における公正採用選考人権啓発推進員の選任については、学校法人は事業所規模に関わらず適用される旨の通知を受けましたので、同推進員を選任し、大阪労働局及び大阪府知事に届け出を行いました。

5. 平成30年度 学生の応募状況

学部、学科（入学定員）		志願者数	入学者数	備考	
関西医療大学	保健医療学部（250名）	1,629名	259名		
	保健看護学部（90名）	1,113名	104名		
	小 計（340名）	2,742名	363名		
	大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻（9名）	7名	7名		
	合 計（349名）	2,749名	370名		
関西医療学園 専門学校	東洋医療学科（30名）	57名	30名		
	東洋医療鍼灸学科	昼(30名)	50名	23名	
		夜(30名)	29名	8名	
	柔道整復学科	昼(60名)	30名	26名	
		夜(30名)	27名	13名	
	理学療法学科（40名）	69名	40名		
	合 計（220名）	262名	140名		
総 計（569名）	3,011名	510名			

※大学、専門学校の志願者数は重複志望を含みます。

6. 平成29年度 資格試験の合格者状況

学 校 名		資 格	卒業生数	受験者数	合格者数	合 格 率
関西医療大学	保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科	はり師	39名	39名	25名	64.1%
		きゅう師			26名	66.7%
	保健医療学部 理学療法学科	理学療法士	42名	41名	40名	97.6%
	保健医療学部 ヘルスプロモーション整復学科	柔道整復師	25名	25名	20名	80.0%
	保健医療学部 臨床検査学科	臨床検査技師	48名	48名	48名	100.0%
	保健看護学部 保健看護学科	看護師	74名	74名	74名	100.0%
		保健師			15名	14名
助産師		3名			3名	100.0%
関西医療学園 専門学校	東洋医療学科	あん摩マッサージ指圧師	34名	34名	32名	94.1%
		はり師			27名	79.4%
		きゅう師			30名	88.2%
	東洋医療鍼灸学科	はり師	53名	52名	37名	71.1%
		きゅう師			39名	75.0%
	柔道整復学科	柔道整復師	57名	51名	37名	72.5%
理学療法学科	理学療法士	33名	33名	32名	97.0%	